



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県



神奈川県

令和6年10月31日
参考資料

認知症未病改善に向けて、株式会社 Splink の最先端 技術を活用する共同実証事業を開始！

～セルフチェック型認知機能測定ツールを用いて、早期の気づきを促進～

県は、「認知症は後天的な脳の障がいによって認知機能が低下し、日常生活・社会生活に支障をきたした状態」という認識のもと、未病の観点での認知症へのアプローチが重要と考え、認知症未病改善プロジェクトを推進しています。

このたび、株式会社 Splink と共に、認知症未病改善に向けた共同実証事業を開始しましたので、お知らせいたします。

1. 認知症未病改善プロジェクトの概要

認知機能低下に伴う身体機能及び精神機能の低下の悪循環を、未病コンセプトに基づき改善するため、各種機能に関する早期の気づきと、維持・改善・補完などの介入を通じて、総合的に日常生活・社会生活での QOL の維持・向上を目指す産学公連携の取組を実施します。

2. 実施概要

医療機関・クリニックにおける待ち時間や地域で実施されるコホート研究の健康診断の場などを活用し、タブレットを用いた簡易認知機能検査等を実施し、認知機能に関する早期の気づきと未病改善を促進します。

- (1) 実証事業者: 株式会社 Splink
- (2) 測定ツール: セルフチェック型認知機能測定ツール「CQ test®」
- (3) 実施時期: 2024 年 10 月より順次開始
- (4) 主な実施場所: 横浜若葉台団地(横浜市旭区若葉台)、
医療法人社団山本メディカルセンター(逗子市桜山 3-16-1)
- (5) 対象者: 内科等の外来受診者や健康診断受診者 等

3. 今後の展開

県では、本実証の成果を、県の認知症未病改善事業の一環として、認知症リスクスクリーニングを行う人と場面・制度などを意識した検査体制の構築を目指すとともに、希望する人がその個人に合った適切な介入を選択できる地域づくりを目指します。

4. 添付資料

株式会社 Splink のプレスリリース

《SDGsの推進について》

県では、SDGsの達成にもつながる取組として、県民の未病を「見える化」し、未病改善につなげる「認知症未病改善」の取組を進めています。



問合せ先

神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室

未病産業担当部長 牧野 電話 045-285-0156

未病連携グループ 佐藤(貴) 電話 045-285-0778